

～地域で多職種連携 みんなで支えあう～

神奈川県小田原市

株式会社ツクイ 小田原営業所

営業所所長 金山 智子

脇本 一真

1 はじめに

株式会社ツクイは福祉に・ずっと・まっすぐを合言葉に、地域に根ざした会社を目指して日々サービスを提供しております。

そのなかでも小田原営業所は平成21年8月に開設し居宅介護支援事業所・訪問介護事業所・訪問入浴事業所、また移転と同時に通所介護事業所を新設した4つのサービスの複合施設になります。今回は複合施設だからこそその多職種間での連携とサービスの提供について紹介したいと思います。

2 事例や取り組みの紹介

○ケース1 K・Z様のケース

障害にて訪問介護自立支援サービスをご利用されていた方でしたが、65歳の誕生日を迎えられ、介護保険のサービスへと切り替えになりました。地域包括支援センターとの連携をとり、ケアマネジャーは訪問介護でのつながりのある当営業所となりました。

ご本人様はご自宅にて息子様と同居、娘様とは別居されておりますが、通院等の際には、付き添ってくださり、協力的です。

視覚障害と膠原病等の数々の疾病があり、体調も変わりやすいため、訪問看護や、薬局が介入し薬の管理をしたり状態に応じて、すぐに対応されます。

訪問介護では、日々の生活の援助に加え、ご本人が「息子に食事を作る」という生きがいを支えながらサービスを提供しています。

その後、社会参加、他者との交流も兼ね、サービス内容が見直されデイサービスが追加となりました。

訪問介護とデイサービスが同一事業所である事から、緊急時の対応等がスムーズに行えています。例えば、デイサービス利用時に体調を崩されてしまった際に、デイサービスでの状況を訪問介護員に連絡したうえで、デイサービスから帰宅した後のヘルパーの訪問時間を早めに調整、また帰宅後の状況をケアマネジャーにサービス提供責任者からすぐに報告する事によって、訪問看護に早めのアプローチがかけられています。またデイサービスから訪問看護に直接連絡をとり指示いただいたりと事業所の垣根を超え、迅速に対応することができ、その時、その方に必要なサービスを提供する事が出来ています。

今後は視覚障害の方に特化した機能訓練を検討しており、その訓練をデイサービス利用時や、訪問介護でも取り入れることによって、ご本人様が、住み慣れた小田原で、より自分らしく生活できていけるように支援していきたいと思っております。

3 考察

ご利用者の出来る限り在宅で生活したいという思いをかなえるためには、ご家族の協力だけでなく各サービスの提供が必要となる方が多くいらっしゃると思います。その中で、各サービス間での連携は必要不可欠であり、複合施設である当施設は連携が取りやすい事業所であると感じています。今後、サービスを提供するにあたり、各サービス間での連携をますます強化し、ご利用者にとってより良いサービスとなるように、努力したいと思います。

4 おわりに

株式会社ツクイが福祉業界に参入し35年以上を数える事ができました。その多くの経験を活かして多くのご利用者の方々の気持ちに応える事が出来るよう、福祉に・ずっと・まっすぐを胸に、これからも努力していきたいと思えます。